

さくらユウワ情報



新年号



「玉乗り兔」山形張子

税理士法人 さくら優和パートナーズ

2023年
明けまして
おめでとうございます

本年もよろしく
お願いいたします

税理士法人 さくら優和パートナーズ
職員一同



■鹿児島本部

〒891-0115
鹿児島市東開町3番地170
TEL 099-260-0100 FAX 099-260-0113

■鹿児島中央支店

〒892-0844
鹿児島市山之口町1番10号 鹿児島中央ビル7階
TEL 099-213-9706 FAX 099-213-9707



◆新年のご挨拶◆



新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナに加えましてロシアのウクライナ侵攻、急激な円安進行など、日本にとっても大変な出来事が多い年でした。また10月に鹿児島で開催された「第12回全国和牛能力共進会」において、鹿児島県は「和牛日本一」の称号も手に入れたわけですが、今年は10月に「かごしま国体」が開催される予定でもあり、さらなる発展が期待される所です。

写真は山形で作られている山形張子の代表作の一つ、「玉乗り兔」で、丸い玉の上にウサギさんがバランスを取って立ち姿で乗っている張子です。平成11年の年賀切手の図案になりました。数年前に出張で山形に行き、鹿児島に帰る前に作っている岩城人形店にタクシーで行った所、「すぐ戻ってきます」という貼り紙が張ってあり留守になっていました。タクシーの運転手さんをお願いして、粘り強く30分待ってやっと買った思い出の張子です。

今年もバランスよく前向きにがんばりたいと思います。



会長 岩元 耕児

新年あけましておめでとうございます

仕事はじめにおもうことは
仕事はひとりだけではできない
仕事を手伝ってくれる仲間がいて
それをサポートしてくれるたくさんの協力者がいて
喜んでくださるお客様がいて
だからこそ
進歩したい成長したい
もっといい仕事をして
お役に立てるようになりたいと願う

新しい年というだけで
なにかあらたなスタートがはじまり
うれしいことがやってくるような気がしています
お正月ですのでそれなりに姿勢を正してはいます
真面目が取り柄の性格なので、まじめに真剣にいきたいと思っています

2023年 よかったと思える年にしたい
リクエストに覚え、準備も怠らず、その場そのときを一生懸命にだけども呼吸はゆっくりと、笑顔で感動の涙もたまにはいいけれど・・・
やっぱり笑顔で

今年もどしどし税理士法人さくら優和パートナーズをご活用下さい。遠慮なさらずに是非お呼び下さい。
全力でお応えします。



所長 貫見 昌良

新年明けましておめでとうございます。明るく、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和5年は、いよいよ“変革の時代”の幕開けの年です。経営者は、これまでの左脳(理性)型の常識経営を、「論語と算盤」の渋沢栄一型の「右脳(感性)を主体にして、左脳(理性)がそれをサポートする経営」に変革すべきときだと思えます。それには、「感性(右脳)」を磨いて個性(強み)を発揮して全く新しいことを「創造」することです。

“創造の時代”、今年はいよいよ「右脳(感性)で想像し、左脳(理性)でそれを創造する」右脳型経営に取り組ましましょう！



相談役 徳留 忠敬

新年明けましておめでとうございます。

昨年も「新型コロナウイルス」に振り回された一年となっていました。かれこれ3年です。更に2月にはロシアの「ウクライナ軍事侵攻」があり、世界経済に大きな影響を与えました。勿論ウクライナが一番大変な状況ですが、国内は殆どの商品が値上ラッシュに見舞われ、私の担当先も大変苦労されました。早くプーチン大統領を何とかしてほしいです。

明るいニュースでは、何と言っても大リーグ「二刀流」での大活躍、大谷選手です。投手として勝利15、防御率2.33、奪三振率11.87、打者として本塁打34、打率.273、打点95などの数字も申し分ないです。凄いです。この調子で今年の活躍も期待したいと思います。

仕事関連では、「インボイス制度」「改正電子帳簿保存法」がスタートします。

早めの準備をお願い致します。疑問点等ありましたら遠慮なく事務所にご連絡ください。

最後になりますが、この3月で入所40年になります。事務所は勿論ですが、ひとえに皆様方のお陰だと思っております。

本年も宜しくお願い致します。 副所長 内山 厚志



明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナ感染症だけでなくウクライナ危機によって、更に経済は混迷を深め中小企業の取り巻く経済及び内部環境は大きな逆風にさらされ続けています。

今年も風の止む気配の見通しはつきません。

現下、企業が事業の継続と成長を遂げる為には環境に順応していくしかなく、自社の事業の強みと弱みを分析し、ピンチを機会と捉え脅威に対してしっかりと備える「経営の基本」に立ち返ることが重要です。

弊社では、お客様の成長発展を遂げる様々な支援を積極的に行っております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。



副所長 野田 勝

あけましておめでとうございます。

昨年はロシアのウクライナ侵攻、コロナ問題、物価高騰等と大変な一年だったと思います。私事ですが昨年70歳になり恩恵を感じたのが、医療費の窓口負担が2割となったことです。一方で、75歳以上の方で負担が1割から2割になられた方もいらっしゃると思います。

いろんな負担が増加していく中で、相続税法改正も気になるところです。最近の税制大綱で検討事項とされた「相続税と贈与税の一体化」がいよいよ現実となるものと思われまます。改正内容を注目していきたいと思えます。

今年もよろしくお願い致します。



顧問 富園 和生

あけましておめでとうございます。

昨年はコロナウイルスに加えウクライナ侵攻、さらにアメリカの金利上昇などにより円安が進み各種商品やサービスの原価高を招いています。

このような中で、本年10月1日から消費税がインボイス制度に移行されます。

インボイス(適格請求書)発行事業者を選択するかどうかの判断は、原則として本年3月までに行うことが求められています。早めの判断でインボイス制度に備えられるよう担当者にご相談ください。

皆様にとって本年がよい年でありますようご祈念申し上げます。



顧問 竹ノ内 正雄



新年あけましておめでとうございます。
鹿児島中央支店で迎える2度目の新年となりました。一昨年の4月に鹿児島中央ビルにて7名でスタートした支店も6名増員され、13人体制の事務所となっています。

去年は、弊社のクライアント様を含め鹿児島黒牛が和牛のオリンピックで日本一に輝くなど喜ばしい話題も沢山あった一方、コロナ・戦争・円安の三重苦により企業経営を取り巻く環境が厳しさを増した一年であったと思います。

厳しい経営環境のなか、クライアントの皆様を誠心誠意サポートし、地域経済社会の発展に貢献できるよう、より一層精進致します。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



鹿児島中央支店 支店長 加藤 大輔

税務審査室

お客様のために、税務審査室の7人のサムライが、ピョンピョンと軽やかに解決いたします。



左前より、竹ノ内、貫見、富園
左奥より、野田(勝)、西山、鋤崎、加藤

未だコロナ禍の影は衰えない中で、昨年の下半期は大幅かつ急激な円安が進行し、昨今のモノ不足と相まってあらゆる物資が高騰して中小企業経営に打撃を与えることになりました。また、中小企業においてもSDGs理念に沿った経営が求められるなど、あらゆる事象に着目しながら、予測不能な困難を克服していく必要があります。そのような場面で皆様のご判断の基準となるようなご提案、ご支援ができるよう、全社を挙げて取り組んでまいります。



㈱さくら優和コンサルタント 代表取締役社長 新徳 博幸

いよいよ2023年が始まりました。スタートはみんな一緒。ゴールの地点がそれぞれ違うんですね。まずは、他人は気にせず自分サイズのゴール設定を決めること。ゴールを決めたら、まず行動、「アウトプットが先、インプットは後」です。

そして、最初の一步を自分の意志で踏み出すこと！そうでないと、あなたのレースが始まりません。インプットしてから…では、時間はあっという間に過ぎます。

即、行動して、実りある一年にしましょう。



㈱さくら優和コンサルタント 取締役副社長 二木 宏造

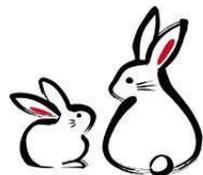


コロナが完全に消え去っていない今、経営者の方々・従業員の方々には日本経済を支えていただき、畏敬の念を禁じ得ません。コロナでは生活・経済が大きく変化し得ることを学びました。変化に対応できる会社、変化し続ける会社であり続けることが、これからの会社の大きな鍵となると思います。

卯年となる令和5年、成長につながる大きなジャンプをご支援できるように努めて参ります。



さくら経営支援㈱ 代表取締役社長 山之内 毅明



昨年8月に「行政書士岩元耕児事務所」から「さくらトラスト行政書士事務所」へと名称変更し、所長に就任させていただきましたことになりました。「さくら」は税理士法人を始め、関連会社の名称にも使われております。「トラスト」は信頼・信用を意味し、行政書士業務である官公署に提出する書類・権利義務に関する書類・事実証明に関する書類などの作成を通して、会社や個人の権利や財産を守る支援を行っていく、という意味で採用しました。

弊所グループでは包括的に課題解決できる体制が整っております。なんでもご相談いただきますようよろしくお願い申し上げます。



さくらトラスト行政書士事務所 所長 南 弘規

2022年は長引くコロナ、ロシアによるウクライナ侵攻など心が穏やかになる日がそれほど多くありませんでした。しかし、最後にサッカー日本代表が心に明かりを灯してくれました。大会前はさほど期待されておりましたが、諦めずに「三苦の1ミリ」が日本に歓喜をもたらしてくれました。明けない夜はないと言いますが2022年も十分に耐え忍びました。

今年こそは皆様にとっても飛躍の年となりますよう、心よりお祈りするとともに私たちも微力ながらお力添えできるよう皆様と一緒に限界まで走り抜きます。



(有)ブレイン 常務取締役 岩元 真也

○事業支援部

私事ですが、一昨年に息子が県外へ就職して、昨年は娘が県外へ進学して、とうとう夫婦二人きりの生活になりました。

淋しくて 淋しくて…ユーミンの歌詞のように想う日々でした。そんな生活にもだいぶ慣れてきて、二人で仲良くやっています。子育ては、大変だったり、苦しかったり、葛藤があったり、終わるとそれらから解放されますが、それ以上に淋しいものですね。コロナで窮屈な日々ですが、会えなかったり、離れてみてかえって想う気持ちが強くなった気がします。親を、家族を、一番に大切にしてください。後悔することのないように過ごしましょう。

事業支援部 部長 田中哲美



左前より、山崎、田中、迫田
左奥より、片平、八木、坂口

○業務支援部

インボイスの届出や帳簿のインボイス対応、電子帳簿保存法の保管場所と管理体制の構築など、今年もお客様と一緒に考え実行していくことがたくさんあります。インボイスでは税負担が新たに発生する方も予想されますし、帳簿処理を新しいシステムに切り替えていただくようお願いする方もできます。個人の方でも普通にインターネットで商売をする時代になり中小企業の電子化も急務だと考えています。私たちにお手伝いできることがあればできる限りのお手伝いしたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

業務支援部 部長 野田直明



左前より、野田（直）、徳留（健）
左奥より、土井、鋤崎

○事業繁栄部

令和5年(2023年)は卯年。「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから、冬の門が開き、飛び出る、という意味があると言われているようです。これは人々がコロナを克服して経済活動が復活してきた最近の動向のとおりであると感じます。弊所のモットーは「明るく、前向きに、元氣よく」です。ダメな理由を探すより、どうすれば良くなるか、を考え、明るく、前向きに、元氣よく、関与先様の発展に全力を尽くします。

事業繁栄部 部長 南 弘規



左より、新徳、南、山下、前田

○経営支援部

毎回欠かさず観る数少ないTV番組の一つに「仕事の流儀」があります。多種多様な人物描写が余すことなく映し出されており感銘を受ける番組ですが、出演者に共通していることは「変化」を苦とせず受け入れていることです。脳神経外科医の谷川先生は、他では治療が困難とされた難症例を次々と成功させてきた名医ですが、智慧や変化に対応する精神を持ち続けることが成功へのプロセスになるのだと感じました。

2025年問題も目前に迫り企業を取り巻く環境も大きく変化することが予想されます。

「変化したい」「未来を考えたい」。経営者の皆様の想いが形になるようサポートしてまいります。

経営支援部 部長 増田真一



左前より、シャカイ・吉満
左奥より、増田、山之内

○経営サポート部

卯年はこれまでの苦勞が飛翔する年と言われがありますが、他力本願ではなかなかです。最近読んだ教育に関する書籍で目に留まりました。日本では、親が子供を叱るときに「他人様に迷惑でしょ」と言いがちですが、インドでは「あなたはすでに人に迷惑をかけて生きている。だから、人のことも許してあげなさい」と教えるらしいです。日本人的美徳と大陸の国民性も影響しているのでしょうか忘れ去られた考え方でした。

このようにビジネスや日常生活でも、固定概念に縛られることは多いものであります。私たちの仕事である税務会計・経営支援におきましても、1つの角度だけでなく願わくば360度見渡した仕事を目指したいものであります。

本年も経営サポート部をよろしくお願いいたします。

経営サポート部 部長 大野芳人

経営サポート1課



左前より、大野、岩元（真）
左奥より、福德、淵之上、右田

経営サポート2課



左前より、大野、上園
左奥より、福島、追立



鹿児島中央支店 ○経営支援部

時代の移り変わりや、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいた天文館に再び活気を取り戻す象徴として昨年開業したセンテラス鹿児島のように、私共はすべてのステージにある企業様を盛り立てるべく伴走して参ります。

昨年は、想定を遥かに上回る少子化の加速や円の乱高下等、安定した事業運営を末永く続ける為に考慮しなければならない事項がより顕在化した1年であったと考えます。既存または今後想定される問題の解決策を共に考えるお手伝いをさせていただきます。

経営支援部 部長 大山雅也



左前より、大山、上床
左奥より、中村、四位、大工



鹿児島中央支店 ○経営支援2部

早いもので令和も5年目を迎え今年の干支は「卯年」となります。兎は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があると言われてしています。新型コロナウイルスの影響でここ数年は閉塞的で重苦しい雰囲気が漂っていましたが、今年は明るく飛躍できる年にしていきたいものです。

経営支援2部は皆様のお役に立てることを常に考えております。些細な相談でもまずはスタッフにお尋ねください。

経営支援2部 部長 岩下敏郎



左前より、岩下、田添
左奥より、鎌田、松元、四反田



ODX 推進室

この度DX推進室が設置される運びとなりました。

データやデジタル技術の活用の取り組みを推進サポートすることが目的として既存スタッフ3名に、専門スタッフ2名を新たに追加して昨年11月にスタートを切りました。まずは、所内におけるDX推進によって業務の効率化を図ってまいります。

そして、次のステップとしてそのノウハウを活用してお客様にもDX推進のお手伝いができる体制を一日でも早く整えて提供できるよう精進してまいります。

DX 支援室長 今徳貴司



左上より、脇、今徳、尾迫
左下より、濱崎、金城



○総務部（業務サポート課・総務課）

総務部は総務課5名、業務サポート課5名の計10名の女性スタッフで構成されております。私を含めると11名のサッカーでいうベストイレブンというところでしょうか。

2022年12月はカタールワールド杯が大変盛り上がりおりました。

日本代表の選手の皆さんも、サポーターの大声援が大きな力となったとコメントしていました。日本国内では、いまだコロナの影響で様々なことが制限されていますが、声なきサポーターとして、お客様へ訪問させていただいている監査担当者の後方支援。

またお客様からのご質問やご相談についても迅速・丁寧にサポートできるように精進して参ります。

総務部 部長 今徳貴司

業務サポート課



左前より、藤村、菌田
左奥より、花田、児島



総務課



(鹿児島本部) 左前より、郡山、大脇
左奥より、日高、今徳



(鹿児島中央支店) 左より 坂之上、生駒

支援室挨拶

🌸 さくら優和パートナーズでは、それぞれの専門性に特化したチームであらゆるニーズに対応いたします 🌸

相続支援室 [室長:野田直明]

遺言書には、家族へメッセージを記載する付言事項があります。「兄弟仲良くしてね」親から家族へのメッセージを目にすると、法的な効力はなくても、相続人の不満も解消されスムーズな遺産分割ができるのではないのでしょうか。相続に関するご相談は、当事務所へよろしくお願ひいたします。



事業承継・M&A 支援室 [室長:新徳博幸]

日本の企業の 6 割で後継者が不在という統計があるように、事業承継は喫緊の課題であり、早めの着手が望まれます。承継手法は「親族内」「親族外」「外部(M&A)」と3つに分かれますが、事業承継支援室ではいずれの手法についてもご支援しております。些細なことでもお気軽にお問い合わせください。

資産活用・信託支援室 [室長:南弘規]

団塊の世代「1947年(昭和22年)~1949年(昭和24年)」生まれの方々が、2025年(令和7年)には3500万人に達すると見込まれています。企業において、事業承継待ったなし!の状況です。また、個人においても相続税・贈与税改正が予定され、資産承継待ったなし!であります。資産活用・信託支援室では、民事(家族)信託を活用した円滑な承継を支援しております。なんでもご相談ください。



組織再編支援室 [室長:上床格]

組織再編支援室では、定期的に事例検討会を行い構成員のレベルアップを図っています。グループ内・グループ外での合併・分割・株式交換等の組織再編行為に興味があれば、ぜひ当支援室にご相談ください。

社福・公益支援室 [室長:田中哲美]

「共生社会」の実現、「居住支援」という新しい支援、その人がその人らしく生きていけるようにしていくのが福祉サービスの根源であるという視点から意識の変革が必要です。当支援室は関与先の経営を全力でサポートして参ります。



医業支援室

[室長:増田真一]

2025 年問題も人材確保や診療報酬改定への対応など医療業界を取り巻く環境も年々変化しております。また、最近では次世代への承継などの相談も増えてきております。

医療機関が直面している様々な問題に対応できるようチーム一丸となり取り組んでまいります。



アグリ支援室

[室長:坂口公史]

昨年も、農業界ではいろいろなことがございました。甘藷のもと腐れ病の蔓延や農業分野だけには限らず、コロナの影響など。農家の所得を高くするためには、どうしたら良いか?永遠の課題ではありますが、これからも、この課題に取り組んでいこうと思う所存です。



創業・地域創生支援室

[室長:大野芳人]

創業に関して最大の関心事は、資金調達(能力)と成功するビジネスモデルを立ち上げ継続できる人(組織)を作れるかだと、常日頃考えております。極端な言い方をしますと、自己資金ゼロでも、上記2点が立証できる事業計画作成し実現可能性が高いと判断されれば、資金調達の規模と調達方法は見つかる場合も十分あります。

当支援室では、創業検討の方や鹿児島県内の地域活性化の取り組みに財務・非財務を含めた支援を標榜しています。



海外ビジネス支援室

[室長:四位晶子]

昨年は円安と戦争で物価高に苦しめられたという企業や家庭が多かったのではないのでしょうか。そんな中、急激な円安を追い風に輸出企業は軒並み好決算を叩き出していました。輸出商談会やセミナーに参加して海外展開に目を向けてみるチャンスです!



SDGs推進チーム

[室長:加藤大輔]

弊社は、会計事務所ができる持続可能な社会への貢献活動を研究しています。

SDGs に注力している中小企業の非財務の側面にフォーカスし、決算書に反映されない社会貢献活動が評価されるような仕組み作りを、金融機関や学術機関と連携して行っています。

SDGs に関心、興味のあるクライアント企業様は体制の構築等にも協力させていただきますので、弊社にご相談ください。



勝手ながら、2月号～4月号はお休みさせていただきます。

5月号から少し形を変えてお届けする予定ですので、よろしくお願いいたします。

良いお年を
お迎え下さい

